



目指す学校像 「すべての子供の活躍の舞台 日野第八学校！」

学校だより 3月号

日野市立日野第八小学校
校長 船山 徹

電話 042-591-2411 ファックス 042-591-2412

<https://www.hino-tyky.ed.jp/e-hino8/>

令和7年2月28日発行

—第4次日野市学校教育基本構想1年目の取り組み— 「子供たちがつくる学校プロジェクト」の実践を振り返って

校長 船山 徹

令和6年4月、日野市における教育振興基本計画「第4次日野市学校教育基本構想」に基づく教育活動がスタートしました。本校の「学校だより4月号」において、私は、この基本構想から次の四点をメッセージとして受け止めていることをお伝えしました。

- 常に子供を真ん中に置いて考える。
- 子供にかかわるすべての人が当事者※となり、力を合わせて子供を育む。
- すべての当事者が、それぞれの役割を果たすため、できることに確実に取り組む。
- 学校は、子供たちと教職員が一緒になって、試行錯誤を繰り返しつつ、学校として一番やってみたいことにチャレンジする。

※すべての人が当事者 = 基本構想では、子供、教職員、保護者、地域、行政などの全てを指しています。

この基本構想を実現するため、本校では「子供たちがつくる学校プロジェクト」を立ち上げ、子供たちの発想を生かした、子供たちによる学校づくりに取り組んできました。「なかよしプレイタイム」はもちろん、委員会やクラブ活動、学級会などの特別活動。運動会や展覧会、八小まつりなどの行事。子供たちの提案による「八小キャラクターづくり(名称:ハッピーはちはち)」「なかプレの用具で5年生と運動遊び」「たちばな学級タイルアートづくり」「ひのはちプロジェクト」等々、実に数多くの取り組みが行われました。

これに合わせて、私たちは、年間を通した授業の1割程度を、子供が自ら学習課題を決め、自分に合ったペースや学び方で学ぶことができる授業につくり替えることに取り組みました。これは、「自立した学習者としての資質・能力を、発達段階に応じて育んでいく」ことを目指した挑戦です。低学年の生活科、中・高学年の総合的な学習の時間での取り組みを中心に、国語や社会科でも「自由進度学習」に取り組むなどの工夫をしました。子供たちは、各教科等の学習で習得した基礎・基本をフル稼働させ、仲間と共に、自分で決めた学習課題の解決に自ら取り組みました。

このような活動を、子供たちの多様なニーズに合わせて行おうとした時、本校の教職員の力だけでは対応しきれない限界がありました。そんな時に、惜しみなく力を貸してくださったのが、保護者、地域の皆さんでした。1・2年生の生活科では、浅川での活動や「まちたんけん」に、保護者の皆様に、毎回同行していただきました。総合的な学習の時間では、3年生22か所、4年生12か所の施設や店舗、事業所の皆さんが、子供たちの体験活動の場として、子供たちを繰り返し受け入れてくださいました。受け入れ先は、地域コーディネーターの方々が、担任と一緒に探してくださいました。5・6年生が中心となる「なかよしプレイタイム」では、「八小お助けしよう隊」※の皆さんが教職員と一緒に準備を行い、子供たちを見守り、終了後は「よりよい『なかプレ』にするためのミーティング」を行って改善案を提案してくださいました。「八小お助けしよう隊」に登録してくださる保護者・地域の方も、次第に増えていると聞き、とても心強い思いでおります。PTA 秋まつりでも、子供たちの実行委員を募り、子供たちのアイデアを生かしたイベントを開催してくださいました。

これらを振り返ると、冒頭に記載した「子供たちがつくる学校」の実現に向けた取り組みが、たくさんの保護者、地域の皆様のお力添えによって進めることができたということを実感し、感謝の念に堪えません。保護者、地域の皆様が、子供たちが自ら何かに取り組もうとする姿を、ご自身の立場から、学校と同じ「当事者」となって心から応援してくださったことが、皆様のあたたかさと共に伝わってまいります。

本校では、令和7年度も「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進してまいります。引き続き皆様のお力添えをいただきたく、お願いいたします。

※「八小お助けしよう隊」には、読み聞かせ隊、八小ガーデン(花壇づくり)、登校見守り隊などがあり、無理なく活動できる範囲でご協力をいただいております。

【3月の行事予定】

日	曜	行 事 予 定	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1	土							
2	日							
3	月	挨拶週間始 委員会活動	5	5	5	5	6	6
4	火	6年生を送る会 保護者会（5、6年） 藤井S C	5	5	6	6	5	5
5	水	安全指導 午前時程	4	4	4	4	4	4
6	木	保護者会（1、2年）	5	5	6	6	6	6
7	金	挨拶週間終 たちばな学級を送る会 ステップ三者面談終 成長とありがとうを伝える会（4年） 保護者会（3、4年、たちばな）	4	5	5	5	6	6
8	土							
9	日							
10	月	ステップ指導終	5	5	5	6	6	6
11	火	浅川探検（1、2年） ひのはちE S Dミーティング 藤井S C	5	5	6	6	6	6
12	水		5	5	5	5	5	5
13	木	委員会まとめ集会	5	5	6	6	6	6
14	金	読み聞かせ（6年） 佐藤S C	4	5	5	6	6	6
15	土							
16	日							
17	月	大掃除	5	5	5	6	6	6
18	火	藤井S C	5	5	6	6	6	6
19	水		5	5	5	5	5	5
20	木	春分の日						
21	金	午前時程 給食終 離任式 卒業式予行 佐藤S C	4	4	4	4	6	6
22	土							
23	日							
24	月	卒業式						4
25	火	修了式	4	4	4	4	4	
26	水							
27	木							
28	金							
29	土							
30	日							
31	月							

※3月の避難訓練は、児童への予告なしで実施します。

年間目標		進んであいさつをしよう
3月	生活目標	整理整頓をしよう
	保健目標	1年間の健康生活の反省をしよう
	給食目標	給食に感謝し、1年間に振り返ろう

卒業式、入学式について

3月24日（月）に卒業式、新年度4月7日（月）には入学式を実施いたします。式には、きょうだいであっても、小学生の列席はご遠慮いただいています。小さなお子様をお連れの方は、厳粛な式の進行にご協力ください。

幼保小連携について

小学校入学後の学校生活に慣れるために、1年生と園児、5年生と園児の交流を行っています。1年生との交流は遊びが主な活動になり、5年生との交流は学校探検等、小学校を知る活動が主になります。また、小学校の授業の様子を保育園や幼稚園の教員が参観したり、保育園や幼稚園の保育の様子を小学校の教員が参観したりすることで、児童が入学後にスムーズに学校に慣れることができるようにお互いに意見交換をしています。今年度は4月にスタートカリキュラムの授業を保育園や幼稚園の先生に参観してもらいました。5年生との交流では学校探検をして、小学校の広さや教室・人数の多さを体験しました。1年生は園児と手をつないで学校探検をしたり、一緒にジャンケン列車で遊んだりしました。今後も幼保小の連携を深めていき、入学後のスタートカリキュラムでは、園で行っていた手遊び等を授業や学校生活に取り入れることを通して、学校生活に少しずつ慣れていけるようにしていきます。



小中連携について

本校では、児童の進学に対する期待を高め、「中1ギャップ」と呼ばれるハードルを下げようと、三沢中学校との交流を進めています。2月21日（金）には、三沢中の生徒会の皆さんが来校し、スライドを使って小学校との生活の違いや部活動の紹介をしてくれました。6年生は工夫が凝らされたプレゼンテーションを見て、中学校生活のイメージをもつことができたようでした。また生徒会の皆さんへの質問コーナーでは、中学校での生活に向けて、分からないことや、不安に思っていることをたくさんの児童が質問し、生徒会の皆さんが丁寧に答えてくださいました。交流会の後には、部活動のこと等について友達と話す様子が多く見られ中学校生活への期待感が高まった様子でした。三沢中学校の生徒会の皆さんありがとうございました。



八小まつり

2月7日（金）に八小まつりが行われました。子供たちは、事前に準備を重ね、それぞれの学級で工夫を凝らしたお店を展開しました。1年生は、初めての八小まつりに少し緊張しながらも、目を輝かせて楽しんでいました。2年生は、1年生と一緒に学校を回って優しく案内するなど、頼もしさを感じることができました。3年生～6年生は、「どうすればみんなが楽しめるのかな？」と話し合いながら、学校のマスコットキャラクター「ハッピーはちはち」を取り入れた面白いゲームを考えていました。お客さんに楽しんでいただこうと、試行錯誤しながら準備を進め、当日は大盛況となりました。

また、今回の八小まつりには、たちばな学級の案内で、七生緑小学校あおぞら学級の皆さんが遊びに来てくれました。「八小まつりをより楽しめるものにしよう」と、仲間と計画を立て、実践したという経験は、子供たちの自信につながっていくことでしょう。

これからも、日々の学びや活動を大切にして充実した生活を送ることができるよう見守っていきます。



6年生 総合的な学習の時間

「より良い未来を目指して」～ひのはちプロジェクト～

いよいよ小学校卒業の日が目前に迫ってきました。卒業式までの日数をカウントダウンしながら、子供たちは一日一日を大切に生活しているところです。この思いを学校に伝えようと、今年度は総合的な学習の時間において、「日野八小に何が残せるのか」「どうすれば、より良くできるのか」を子供たち自身が課題にもち、様々な活動を計画・実施しました。プールの更衣室を清掃する、特別教室の椅子にやすりをかける、昇降口の掲示物を作り直す、装飾物を作る、楽しい放送を企画する等、お世話になった小学校への思いを込めて、様々な活動に意欲的に取り組みました。この活動を通してより一層卒業への気持ちを高め、残りの学校生活を充実したものになるよう指導していきたいと思います。



「ESDミーティング」の公開について

日時：令和7年3月11日（火） 13時20分から14時05分まで

「持続可能な社会の担い手として生きる力」を育成する教育活動の一環として行う「ESDミーティング」を、保護者の皆様へ公開いたします。この活動は、3年生以上の子供たちが、「自分たちが暮らすこの世界がよりよくなるためにできること」などを調べ、まとめたことを伝え、聞いている子供たちと一緒に考えを深めていく活動です。

テーマである「一緒に考える」に向けて、昨年度以上に一人一人が主体的に取り組む活動を目指しています。当日は、子供たちの活動の様子をぜひご覧ください。

なお、当日は正門をお使いください。（西門・北門は開放しません） また、ご来校の際は必ず保護者用の名札の着用をお願いします。活動場所等、詳細についてのお知らせは、C4th Home&School にて後日配信いたします。参観は1、2年生の保護者の方も可能です。



令和6年度の校内研究を振り返って

今年度は「すすんで・みんなで・楽しんで～子供たちがつくる学校へのチャレンジ～」というテーマのもと、子供たちが、自他の目標をよりよく解決したり、新しいことをつくり出したりする姿を導き出すための教育活動の在り方を追究してきました。研究1年目となる今年度は「各教科」「生活・総合的な学習の時間」「特別活動」の3つの分野から迫り、子供自身が自ら生きる力と共に生きる力を身に付けていくにはどのような工夫ができるか、どうあるべきかを考え実践してきました。

その結果、「学習課題や学び方を自己選択・自己決定できる」「子供の思いや自由な発想を大切にし、自分で学ぶ実感をもてる」「他者と学び合い、振り返り、トライ&エラーを繰り返しながら自分のペースで学習課題の解決に向かう」ということが教育活動の在り方として大切なことであるということを全教員で共有することができました。また、実践を重ねてきたことで、子供たちの姿にも高まりが見られました。（主体的に学習に向かう気持ちが高まった・自分たちで考えたことを実践し、学びの楽しさを感じることができていた・学習の振り返りからよりよい方法を考え、次の実践につなげようとしていた等）

この研究は、来年度も継続します。今年度見出すことができたことを大切にしながら、まずは私たち教員が様々なことにチャレンジし、トライ&エラーを繰り返しながら子供たちがつくる学校の実現を目指していきたいと思います。